

佐倉市六崎外出遺跡(第6次)



遺跡全景

六崎外出遺跡は、佐倉市東部に位置し、JR佐倉駅から南に約1kmほどの地点に所在します。この地域はすでに宅地化が進んでおり、この遺跡も過去に5回の調査が行われています。今回は第6次調査として、平成13年4月16日より5月15日の1ヶ月間にわたって発掘調査を実施しました。調査面積は約100㎡と小さかったものの、検出された遺構は縄文時代中期の住居跡3軒、小竪穴7基、古墳時代中期の住居跡1軒、古墳時代後期の住居跡5軒、中・近世の土坑1基と、幾重にも重なった状態でした。

これは過去に実施された調査の結果ともほぼ符合し、本遺跡は縄文時代中期の大集落であり、更には古墳時代においても前期から後期に大集落が営まれていたことがわかります。

今回の調査で特筆すべきことは、古墳時代中期から後期にかけての変遷過程における資料が、遺物のみならず、住居跡が重なり合っていたこと(切り合い関係:古い遺構を壊して新しい遺構を作ることから、作られた順番が推定できる)からも確認でき、今後の整理作業での成果が期待されます。

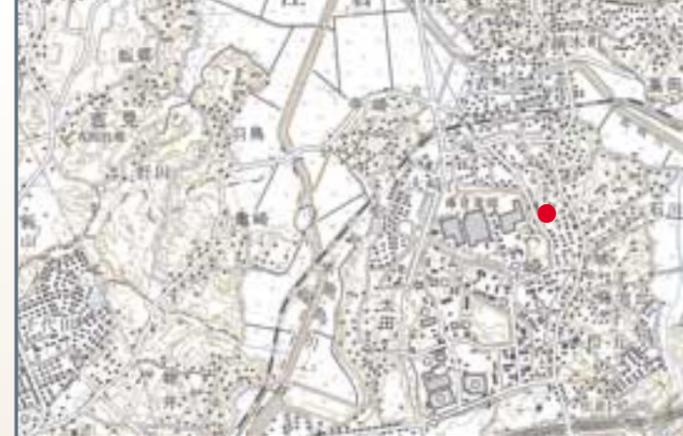
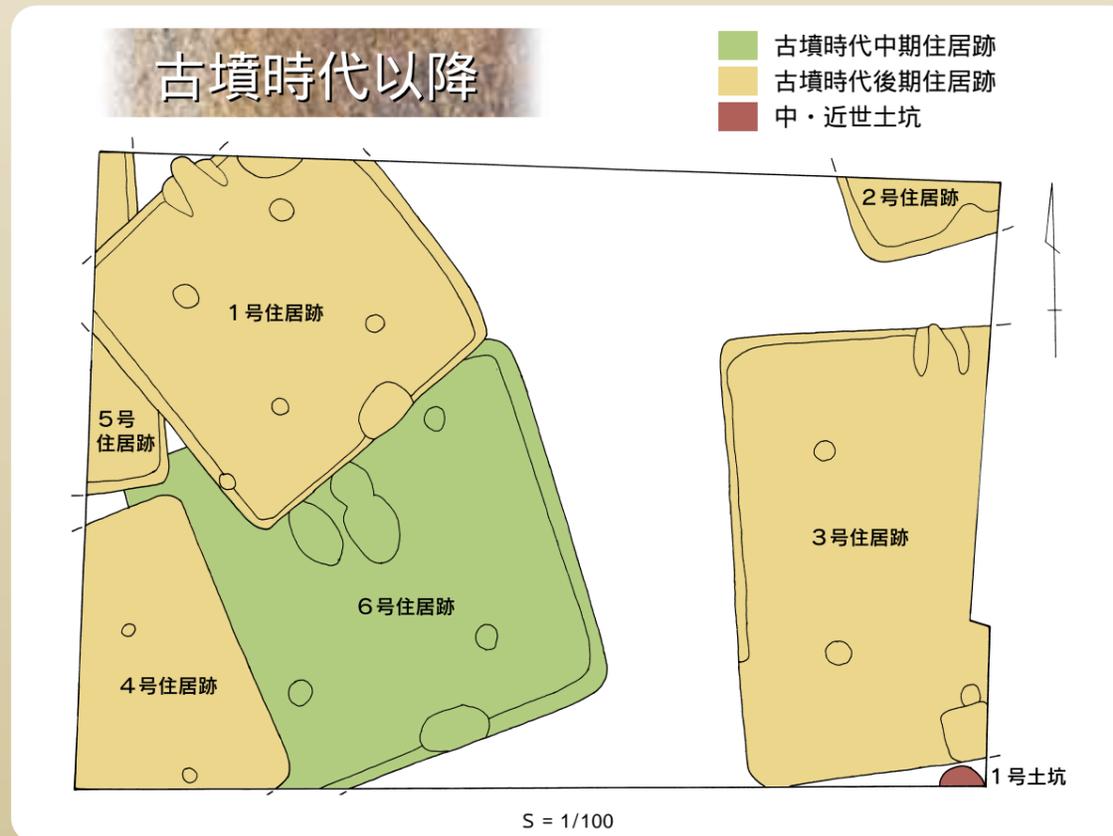
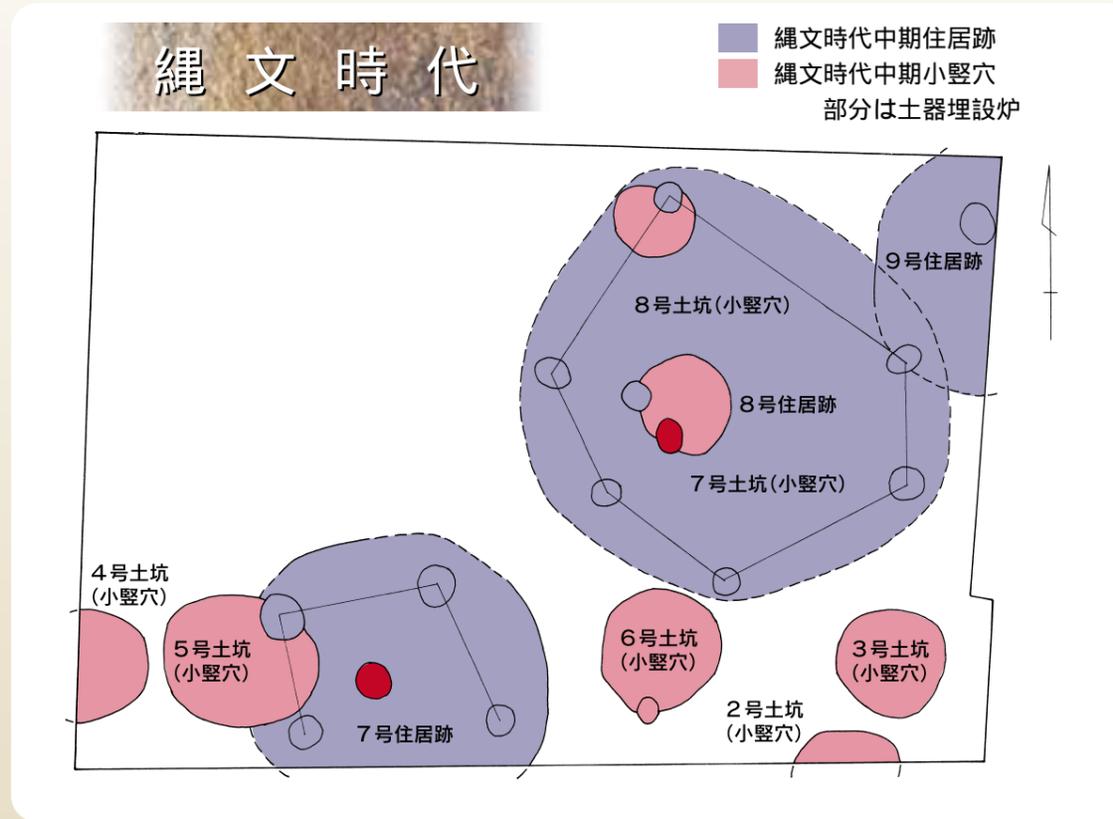
また、縄文時代中期住居跡の炉跡は土器埋設炉^{どきまいせつろ}という、土器を埋めて作られたものでした。これらが残されていた結果、古墳時代の住居跡によって大半が壊されてしまっていた縄文時代の住居跡を特定することができました。



1号住居跡完掘



2号住居跡出土状況



佐倉市六崎外出遺跡(第6次)の位置と周辺の地形



6号住居跡完掘



7号住居跡完掘



7号住居跡土器埋設炉



2号小竪穴